

# 大牟田市立玉川小学校

## 1 本校のESDの特徴

本校区は、大牟田市の南東部に位置し、周りを緑に囲まれたとても自然豊かなところである。昔から農業（稲作が中心）が盛んな地域であり、江戸時代には天領として米を納めていた由緒ある地域でもある。現在も農家が多く、いろいろな農作物が栽培されている。

本校におけるESDの取組は、学校教育目標の「自ら学び、豊かな心で明るく健康的な子どもの育成」を受け、本校区の特徴である自然豊かな環境を利用して、その目標を「将来にわたって、持続可能な社会を構築するために、一人一人の児童が『食』が人や環境と深いつながりがあることを知り、『食』を大切にす的心情を育てる」と設定した。「食育」を中心に、「ひと」「もの」「こと」を有効に活用し、地域の特色を生かして『人とかかわり』を大切にしながら豊かな心を育み、食生活に関心を持ち、心身ともに健康な子どもを育成することをねらいとしている。

さらに、郷土の文化に誇りを持ち、郷土を大切に思う心情を培うために、『食』と関連させて古くから地域に伝わる芸能「米はかり踊り」も、5, 6年生を中心に継承していく取組を行っている。

また、本年度で4年目を迎える、同じユネスコスクールの北海道留寿都小学校と「食育」をテーマに全学年で交流も行っている。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

(1) 1年生 「ひとつぶのたねから」

(さつまいもの栽培、留寿都小学校との交流：手紙)

(2) 2年生 「ぐんぐんのびろ」

(野菜やさつまいもの栽培、留寿都小学校との交流：さつまいも)

(3) 3年生 「地域の農産物マップ作り、収穫体験をしよう」

(留寿都小学校との交流：みかん)

(4) 4年生 「地域の特産物を使って、いろいろなものを作ろう」

(留寿都小学校との交流：うめジュース作り)

(5) 5年生 「米作りに挑戦しよう」

(留寿都小学校との交流：米作り関連、お弁当の日)

(6) 6年生 「玉川の自然にふれよう」

(留寿都小学校との交流：野草学習、郷土学習)

## 3 特徴的な活動事例

< 5年生の取組 総合的な学習の時間 単元名「米作りに挑戦しよう」 >

(1) 目標





①年間を通した米作りに携わることで、米が育つまでの苦勞を知るとともに、玉川小学校の校区の自然の豊かさを感じ、ふるさとに愛着をもつことができるようにする。

②収穫した米でもちつきを行い、地域の一人暮らしの方に配る活動を通して、収穫の喜びと多くの方々の支えに感謝の気持ちをもつとともに、地域の方に対して自分たちが役に立っている喜びを実感することができる。

③「米はかり踊り」を披露する活動を通して、地域の伝統芸能を伝承していく大切さと誇りを感じることができる。

④北海道留寿都小学校との交流を通して、地域の特性や違いに気付いたり、ふるさとのよさを感じたりすることができる。

## (2) 具体的実践

<p style="text-align: center;"><b>【田植え】</b></p>  <p>○地域やJAの方々に指導をしていただき、田植えに挑戦した。泥に足をとられ歩きにくかったり腰が痛くなったりして、田植えの苦労を実感した。植えた後は、定期的に観察に行き、稲の成育を継続して観察していった。</p>	<p style="text-align: center;"><b>【稲刈り】</b></p> <p>○地域やJAの方々に手伝っていただき、稲刈りを行った。収穫の喜びと苦労を感じた。</p>  <p style="text-align: center;"><b>【米はかり踊り】</b></p> <p>○保存会の方々に指導をしていただき、地域の伝統芸能を引き継いだ。</p>	<p style="text-align: center;"><b>【もちつき・もち配り】</b></p>   <p>○親子でもちつきをした後は、地域の一人暮らしの方へもちを配った。喜んでもらえ達成感を感じた。</p>
---	--	---

## (3) 児童の感想から

- お米ができるまでに、たくさんの苦労があることが分かりました。お米一粒も無駄にせず、しっかり食べたいと思います。
- 「米はかり踊り」は6年生から引き継ぎ、保存会の方にも教えていただいたので、伝統を引き継いでいる重みを感じました。
- 親子でもちつきができて貴重な経験でした。もち配りでは、「いつもありがとう。」「楽しみに待っていたよ。」と笑顔で言われ、心があたたかくなりました。

## 4 本年度の成果と課題

### ○成果

- ・「食育」をテーマに、体験を通して学習を進めていったことで、子ども達の興味や関心が持続し、実感を伴った学習にひたることができた。
- ・北海道の留寿都小学校との交流も充実し、お互いの地域の特性やよさを感じることで、あらためてふるさとに誇りをもつことができた。
- ・地域の方の多大な協力があり、学習を進めることができています。子ども達は、人とのつながりを感じ、感謝する気持ちが育っている。

### ○課題

- ・北海道留寿都小学校との交流も4年目に入っている。交流の内容がマンネリ化しないよう、配慮していく必要がある。